



2025年度
大学祭 『汐風祭』

今年で29回目となる『汐風祭』。今年は例年の10月開催から変わり、11月1日(土)、2(日)の2日間開催されました。

吹奏楽団の心躍る演奏で始まった大学祭は、1日目に急な雨に降られることもありましたが、アクシデントにも負けず、軽音サークルやダンスサークルによるパフォーマンス、アーティストライブや獅子舞で大いに盛り上がりました。様々な模擬店、趣向を凝らした参加型のイベントや、展示などへも多くの方に足を運んでいただきました。

今年度は「地域連携フォーラム」、「サッカー教室」、「オープンキャンパス」が同日開催となるなど、学内は非常ににぎわいました。

Photo Gallery



学長賞 スポーツ賞 授与式

汐風祭1日目（1日(土)）に、メインステージにて、学長賞スポーツ賞の授賞式が行われました。
学長賞・スポーツ賞は、課外活動で優秀な活躍を収めた学生へ送られる賞で、今年は下記の学生及び団体が受賞し、代表として男子バレーボール部の徳永 翔さん（保健教育学科3年）が登壇しました。

■最優秀賞

陸上競技部 住吉 璃音（社会福祉学科3年）
周世原 春玖（社会福祉学科2年）

■優秀賞

陸上競技部 高野 真歩（児童教育学科2年）
佐藤 琴望（社会福祉学科3年）
男子バレーボール部



第10回 地域連携フォーラム

自分らしく生きる勇氣 ～世界への一歩～



11/1（土）に第10回地域連携フォーラムが開催されました。今年は「自分らしく生きる勇氣～世界への一歩～」をテーマに、僧侶でありメイクアップアーティストとして世界で活躍する西村宏堂（にしむら こうどう）氏を講師へお迎えしました。

自分を好きではなかったと語る、西村宏堂氏。LGBTQ当事者として、また僧侶としての経験を通し、自分自身を好きになるための考え方や、そう至ることができた経験談などをお話いただきました。

自身の生い立ちや、留学、家族との関係、パートナーとの出会いなどのエピソードを交えて語られた講話は、自分を好きになるための様々なヒントにあふれていました。メイクについては、ファンデーションの色合わせなどの、すぐにでも実践できるテクニックを解説いただきました。さらに、西村氏自身がメイクを学び練習していくなかで、段々と自分の見かけを好きになる事ができた、自分がアップグレードされた気持ちになり、「もっとこんな夢を持ってもいいかな」と感じる事ができた経験や、メイクアップアーティストとしてミス・ユニバースへ参加した際に、身長や髪型だけでなく色々な美しさがある、と気付いた経験についてもお話しくださいました。

また、お経から「それぞれの人が、それぞれの色で輝く事が美しい」という意味を持つ言葉を紹介され、仏教が多様性を応援していること、それに勇気づけられた事も語られました。

講演後半には自分の頭、胸、お腹をやさしくタッピングしながら、自分に言い聞かせたい言葉を言うエクササイズを会場の全員で体験。「私は後悔しないように生きるんだ」などの言葉がけをしながら、自分の体に自分を認めるメッセージ等を伝えていきました。これからの生き方に非常に役立つ貴重な60分となりました。

フィリピンスタディツアー



今年もフィリピンスタディツアーが開催され、6名の学生が8月12日(火)～17日(日)の6日間に渡りフィリピン・マニラとその近郊地域に滞在しました。

フィリピンの最貧困地域であるトンド地区にある、SRDコンコウキョウセンター訪問では、現地の子供たちへの模擬授業を実施。家庭料理体験やSRDに通っている子供の家庭へのお宅訪問なども実施されました。また、バラングイ（地方自治体の最小単位）クリニックの視察では、地域住民へ無料の医療を提供するクリニックを見学。看護や教育を学ぶ学生にとって非常に貴重な経験となりました。これに加え、ジープニー利用、タガログ語での注文、市場での値段交渉といった「チャレンジ」を積極的に経験。歴史的史跡や卸売市場ディビソリアも視察しました。

これらの活動を通じて、学生たちは異文化の中で行動する主体性と柔軟なコミュニケーション力を培いました。特に貧困地域での経験は、将来の専門職としての役割や、国際的な協働・共生について深く考える使命感と国際的視野を育む貴重な財産となりました。今後もこの学びを活かしてまいります。

参加学生
の感想

・言葉や文化の違いを超えたコミュニケーションの楽しさ、現地の生活や歴史・文化の奥深さ、教育や地域活動の重要性を学ぶことができました。短期間ながら多くの体験を通して視野が広がり、自己成長を実感する貴重な経験となりました。（看護学科1年 柴原 ひなた）

・ツアーに参加する前の先入観は大きく覆され、思い出にも学びにもなる最高に楽しい時間でした。市場での小分け商品の購入や、違法居住者への強制撤去の現場など、根深い貧富の差を肌で感じ、日本の恵まれた環境に改めて感謝しました。スモーキーマウンテン周辺や歴史的視察（サンチャゴ要塞）では、他国視点での歴史を学び、多角的な思考の重要性を痛感。KSKの青年たちとの熱い交流や、サバイバル感のあるドーナツ作りは忘れられません。この経験を通し、「幸せの基準は自分で作るもの」と気づき、今後の人生における探究心と自立心が掻き立てられました。

（保健教育学科3年 有田修太）

オックスブリッジ 英語サマーキャンプ



イギリスのボランティア団体に所属する、オックスフォード大学、ケンブリッジ大学の学生が来日して英語を教えてくれる国際交流プログラム、オックスブリッジ英語サマーキャンプ。

今年で3年目となる今回は、第1期の英会話教室と第2期の英語サマーキャンプの2本立てとなり、オックスフォード大学から来学した大学生2名が、講師として授業を実施しました。



初の開催となった「英会話教室」は地域の小、中、高校から参加した生徒を対象に、楽しく英語に触れるプログラムが実施されました。「英語サマーキャンプ」では、本学の学生14名を対象に授業が実施されました。合間には参加者皆でイギリス料理の「シェパードパイ」を作ったり倉敷美観地区への小旅行で英語での観光案内にチャレンジしたりと、コミュニケーションを通して生きた英語を学びました。

・学年や国境を超えて友情を築くことができる貴重な場であり、今後も多くの人にぜひ参加してほしいと思える素晴らしい体験でした。（保健教育学科2年 吉野 珠好穂）

・苦手意識を持つ自分でも「挑戦すれば伝わる」という体験ができたことは大きな成果です。普段関わることの少ない先輩や他学年の学生とも関わることができ、多様な人との交流が自分の成長につながりました。（児童教育学科1年 石井 恵莉）

参加学生
の感想

- 今後の予定**
- ◆オーストラリア研修／オーストラリア サッカー研修 2026年2月23日(月)～3月4日(水)
 - ◆シンガポール研修（他大学との共同） 2026年2月18日(水)～2月24日(火) 【募集締切：12月26日(金)】
 - ◆ハワイ ホノルルフェスティバルボランティアツアー 2026年3月14日(土)～3月18日(水) 【募集締切：2026年1月7日(水)】